

- 2日 ○自販連、7月の国内新車販売台数を発表
国内新車販売台数(含む軽)は、37万7,448台で前年比△4.8%と10か月ぶりの減少
○米供給管理協会、7月のISM景況指数(製造業)を発表
総合指数は59.5%と前月(60.6%)から低下
- 5日 ○イングランド銀行(BOE)、金融政策委員会を開催
・政策金利(0.10%)の据え置き、
・資産買入れ枠を維持(総額8,950億ポンド)
○米商務省、6月の貿易・サービス収支を発表
貿易・サービス収支(国際収支ベース)は△757億ドルとなり、前月(△710億ドル)から赤字額は拡大
- 6日 ○内閣府、6月の景気動向指数(CI)(速報)を発表
先行指数は104.1(前月差+1.5ポイント)で2か月ぶりの上昇、一致指数は94.0(前月差+1.9ポイント)で2か月ぶりの上昇、運行指数は96.5(前月差+3.3ポイント)で2か月ぶりの上昇、基調判断は「改善を示している」とし据え置き
○総務省、6月の家計調査(二人以上の世帯)を発表
実質消費支出は前年比△5.1%と4か月ぶりの減少、季調済前月比は△3.2%と2か月連続の減少
基調判断は「1年前と比べた6月の消費支出は、前年6月が一時的に増加したことの影響などにより減少した。新型コロナウイルス感染症の影響が依然大きく現れており、引き続き今後の動向に注視が必要」とし表現を変更
○厚生労働省、6月の毎月勤労統計(速報)を発表
現金給与総額(共通事業所系列)は前年比+1.4%(うち所定内給与は同+0.7%、所定外給与は同+18.6%、特別給与は同+1.1%)となり4か月連続のプラス
○米労働省、7月の雇用統計を発表
非農業部門の雇用者数は前月比94.3万人増、過去2か月分は修正(6月分は同93.8万人増に上方修正(+8.8万人)、5月分は同61.4万人増に上方修正(+3.1万人))
失業率は5.4%と前月(5.9%)から低下
- 7日 ○中国海関総署、7月の貿易収支を発表
貿易収支は+566億ドル、輸出は2,827億ドルで前年比+19.3%、輸入は2,261億ドルで前年比+28.1%
- 10日 ○内閣府、7月の景気ウォッチャー調査を発表
景気の現状判断DIは前月差+0.8ポイントの48.4となり2か月連続の上昇、先行き判断DIは前月差△4.0ポイントの48.4となり3か月ぶりの低下
景気現状の基調判断は「新型コロナウイルス感染症の影響による厳しさは残るものの、持ち直している。先行きについては、感染症の動向を懸念しつつも、ワクチン接種の進展等によって持ち直しが続く」とみている。」とし据え置き
○財務省、6月の国際収支状況(速報)を発表
経常収支は9,051億円、前年比+7,568億円(黒字幅拡大)で84か月連続の黒字
○東京商工リサーチ、7月の全国企業倒産状況を発表
倒産件数は476件(前年比△39.6%)と2か月連続の前年比マイナス、負債総額は714億円(同△29.1%)、倒産企業の従業員数は1,999人(同△
- 46.8%)、上場企業倒産は0件
- 11日 ○国土交通省、6月の建設工事受注動態統計を発表
公共工事受注額は前年比+9.5%で4か月連続の増加
○日本銀行、7月のマネーストック(速報)を発表
M2は前年比+5.2%、M3は同+4.6%、広義流動性は同+5.5%
○米労働省、7月の消費者物価指数を発表
総合指数は前年比+5.4%、前月比+0.5%、食品とエネルギーを除いたコア指数は前年比+4.3%、前月比+0.3%
- 12日 ○日本銀行、7月の企業物価指数(速報)を発表
前年比+5.6%となり、5か月連続のプラス
○英政府統計局、2021年4-6月期のGDP(速報)を発表
実質GDP成長率は前期比+4.8%、年率+20.7%
- 13日 ○東日本建設業保証会社等、7月の公共工事前払金保証統計を発表
公共工事請負金額は前年比△9.9%で3か月ぶりのマイナス
- 16日 ○内閣府、2021年4-6月期のGDP(1次速報)を発表
実質GDP成長率は、季調済前期比+0.3%(年率換算+1.3%)となり、2四半期ぶりのプラス成長
名目GDP成長率は、同+0.1%(年率換算+0.2%)となり、2四半期ぶりのプラス成長
GDPデフレーターは、同△0.3%となり3四半期連続のマイナス、前年比は△0.7%と2四半期連続のマイナス
- 17日 ○米連邦準備制度理事会(FRB)、7月の鉱工業生産を発表
総合は季調済前月比+0.9%
○米商務省、7月の小売売上高を発表
総合は前月比△1.1%、自動車・同部品を除くと前月比△0.4%
- 18日 ○内閣府、6月の機械受注統計を発表
民需(除く船舶・電力)は季調済前月比△1.5%と4か月ぶりの減少
基調判断は「持ち直しの動きがみられる」とし据え置き
○財務省、7月の貿易統計(速報)を発表
輸出は自動車、鉄鋼等が増加し、前年比+37.0%の7兆3,564億円、輸入は原油、鉄鉱石等が増加し、同+28.5%の6兆9,154億円、貿易収支は+4,410億円で2か月連続の黒字
○国土交通省、6月の建設総合統計を発表
公共工事出来高は前年比+1.3%で、34か月連続のプラス
- 20日 ○総務省、7月の消費者物価指数を発表
生鮮除く総合は前年比△0.2%となり、12か月連続のマイナス
- 26日 ○政府、8月の月例経済報告を発表
景気の基調判断を「景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるなか、持ち直しの動きが続いているものの、一部で弱さが増している。」とし据え置き
- 30日 ○経済産業省、7月の商業動態統計を発表

日誌

(8 月 中)

<p>小売業販売額は前年比+2.4%で5か月連続の増加、季調済前月比は+1.1%で2か月連続の増加 基調判断は「横ばい傾向にある小売業販売」とし据え置き</p> <p>31日 ○総務省, 7月の労働力調査を発表 完全失業率(季調済前月比)は2.8%で前月(2.9%)から△0.1ポイント低下 雇用者数(原数値)は5,992万人で前年比50万人の増加 完全失業者数(同)は191万人で前年比6万人の減少</p> <p>○厚生労働省, 7月の一般職業紹介状況を発表 有効求人倍率(季調済)は1.15倍となり, 前月(1.13倍)から上昇, 都道府県別の有効求人倍率(季調済)は東京, 神奈川, 大阪, 沖縄において1倍を下回る水準 雇用情勢の基調判断は「求人が求職を上回って推移しているものの, 求人が弱含んでおり, 求職者が引き続き高水準にあることもあいまって, 厳しさがみられる。有効求人倍率が1倍を下回る地域がある等, 新型コロナウイルス感染症が雇用に与える影響に, より一層注意する必要がある。」とし据え置き</p>	<p>○経済産業省, 7月の鉱工業指数(速報)を発表 生産は季調済前月比△1.5%, 出荷は同△0.6%, 在庫は同△0.6% 基調判断は「持ち直している」とし据え置き</p> <p>○国土交通省, 7月の建築着工統計調査を発表 新設住宅着工総戸数(原数値)は, 77,182戸(前年比+9.9%)と5か月連続の増加, 季調済年率は92.6万戸(前月比+6.9%)と3か月ぶりの増加</p> <p>○中国国家统计局, 8月の製造業PMI(購買部担当者指数)を発表 総合指数は50.1ポイントと前月(50.4)から低下</p> <p>東証株価指数(TOPIX)第1部(終値) 月間最高値 1,960.70(31日) 〃 最安値 1,880.68(20日)</p> <p>日経平均株価(終値) 月間最高値 28,089.54円(31日) 〃 最安値 27,013.25円(20日)</p> <p>東京外為市場(ドル・円相場, 銀行間直物, 17時時点) 月間最高値 109.11円(4日) 〃 最安値 110.75円(11日)</p>
--	---